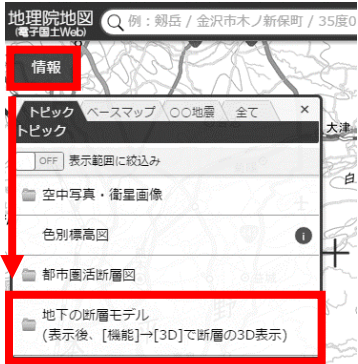
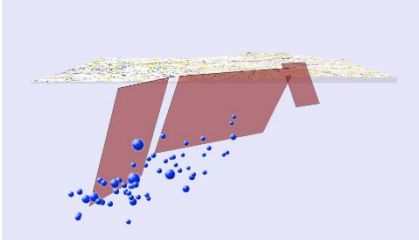
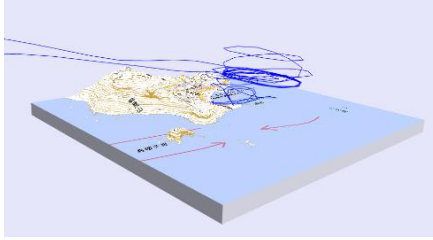
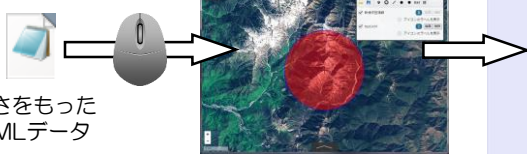




地理院地図の改良

(1) 地下を含む高さをもったデータを3D表示できるようになりました。

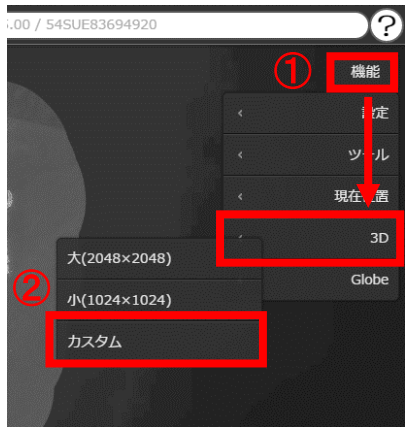
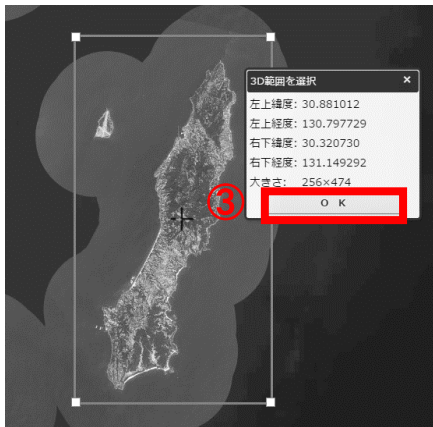
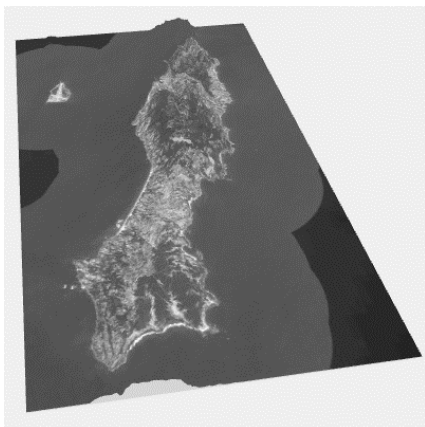
地下の震源分布と震源断層モデル

UAVの飛行航路

高さをもった KMLデータ

お手持ちの高さをもったKMLデータをドラッグ&ドロップで地理院地図に読み込ませ、3D表示することもできます
※ただし3Dプリンタ用データには高さをもったデータの情報は反映されません

(2) 3D表示する範囲を地図上で選択できるようになりました。


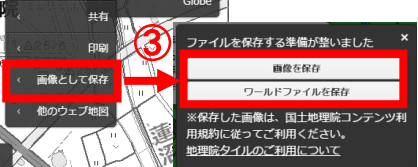

① 「機能」→「3D」をクリック

② 「カスタム」をクリック

③ 3Dにする範囲を選択してOKをクリック

3Dプリンタ用データもダウンロード可能

(3) 地図画面を画像として保存できるようになりました。

① 「機能」→「ツール」をクリック

② 「画像として保存」をクリック

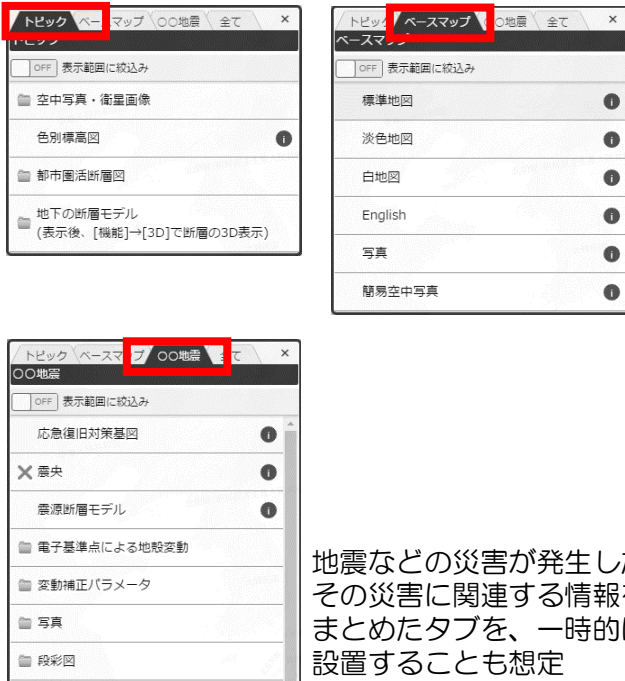
③ 「画像を保存」をクリック

保存した画像は、[国土地理院コンテンツ利用規約に従ってご利用いただけます](#)

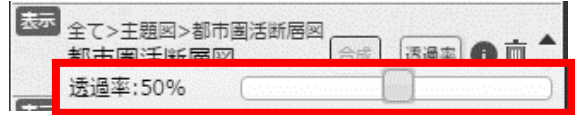


地理院地図の改良

(4) 情報リストをタブ化し、主要な情報が見つけやすくなりました。



(5) 操作パネルを改良し、操作がわかりやすくなりました。



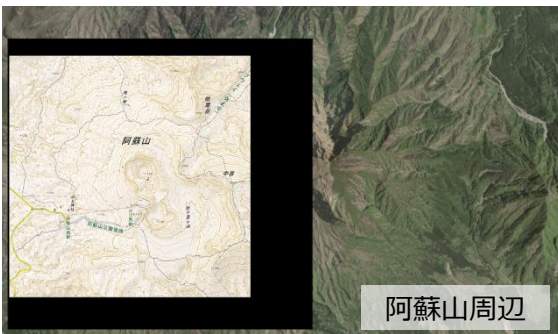
透過率をスライダーで設定可能



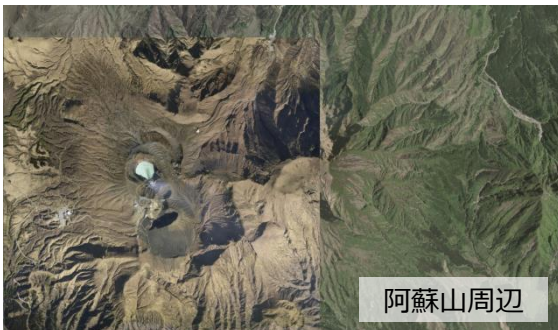
テキストの装飾が簡単に設定可能

(6) 「ベースマップ」の「写真」の空白域がなくなりました。

これまでの「写真」

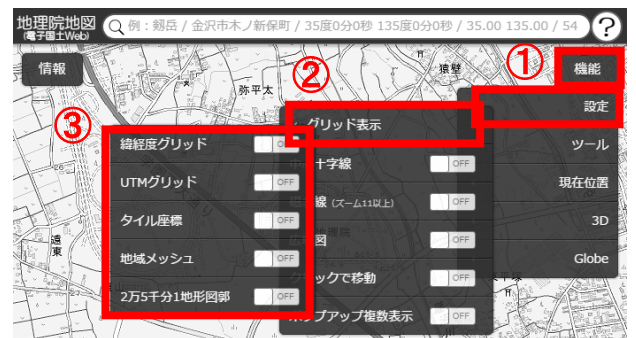


今回公開する「写真」



複数年代の写真を組み合わせることで、全国シームレスで、空白域のない写真を提供

(7) グリッド表示機能をまとめました。



- ① 「機能」→「設定」をクリック
- ② 「グリッド表示」をクリック
- ③ 表示したいグリッドを選択

(8) ヘルプボタンから地理院地図の概要がわかるようになりました。



地理院地図の様々な機能を紹介しています